コントローラ MPC6535 → MPC6565 換装マニュアル

RSD-SUNMAX-QS シリーズ全機、および RSD-SUNMAX-GS シリーズの一部の生産ロットの機体には、 コントローラ MPC6535 が搭載されています。

MPC6535 は、パーツメーカーにより生産中止となっており、在庫等もありません。従って、MPC6535 を 搭載した機体のコントローラに問題により換装が必要になった場合、後継機である MPC6565 を使用する必 要があります。

本マニュアルでは、換装方法を説明いたします。

※ 弊社ではセンドバック修理の一環として、コントローラの換装に対応しています。設置場所において換 装が困難な場合は、弊社にて換装いたします。



換装作業について

MPC6565 は MPC6535 の互換後継機であり、基本的にはコネクタ類を差し替え、そのまま換装するだけで 問題なく動作します。ただし取り付け穴の位置が異なっているので、固定方法を変更する必要があります。

ネジ穴の位置の違いによる固定方法の変更については下記の方法が考えられます。

① MPC6565 に合わせたネジ穴を加工機筐体に開け、取り付ける。

電動ドリル等工具があれば穴を開けることはできますが、機種、ロットによっては取り付け位置のレイ アウトにより、ドリル刃が届かず、パーツの取り外し、機体の分解が必要になる場合があります(特にワ ークエリアの小さい機種)。

② スペーサーを自作する。

機体の実際のレイアウトに合わせて、アクリル板などでスペーサーを自作して取り付けます。弊社で換 装を行う場合は、この方法で行います。

機種、生産ロットにより取り付け位置付近のパーツのレイアウトが異なりますので、実機を確認し、コ ネクタが干渉せず、配線が接続できるネジ穴位置を決め、都度スペーサーを作成し、換装します。

本マニュアルでは、この方法で説明します。

③ 強力な両面テープなどで固定する

この方法はお勧めしません。しかしどうしてもこの方法で行う場合は、必ず MPC6565 の筐体の金属部 分を機体の FG に接続してください。接続しないと、誤動作、故障の原因となります。

換装手順

スペーサーを自作して換装する手順は以下の通りです。

MPC6535 を取り外す

機体右側面下扉を開けます。



外観は機種によって左図と異なります。

コントローラの位置やその他のパーツのレイアウトは機種によってこと異なります。実機に合わせて読み替 えてください。



次に MPC6535 に接続されているコネクタ類をすべて外します。

このとき、MPC6565 に換装した後の接続時に、間違った位置に差し込まないようラベル等を貼ってください。









そして、MPC6535を固定している4つのネジを外します。





ネジを外したら MPC6535 を取り出します。



② 位置の確認

取り外したら、その位置に MPC6565 を当ててみて、ネジ穴の位置をどうするのか検討します。コネクタな どが干渉せず、固定・接続できる位置を決めてください。

MPC6535 と MPC6565 のネジ穴の位置はおおよそ下図のようになっています。 1 枚のスペーサー位置に各4点、計8点の穴を開けます。穴はφ5 程度が適切です。



しかし穴位置については、実機はばらつきがあるため、上図の寸法ではなく実寸を測定してください。実寸 測定を行わないと、作っても取り付けられない場合があります。





MPC6565 用の穴位置は、これから取り付ける MPC6565 の位置を実測してください。



③ スペーサー作成

穴位置が決まったらスペーサーを作成します。どのように作っても使えれば OK です。本マニュアルでは、 3mm 厚のアクリルを使用してスペーサーを作成します。

今回のスペーサーは、MPC6535 と MPC6565 の中心位置を合わせた状態でネジ穴を決めたものを作成しま す(実機では使用できない場合があります)。





次に MCP6565 用の固定ネジを取り付けます。









④ スペーサーの取り付け

機体にスペーサーを取り付けます。取り付け用のネジは、もともと MPC6535 を固定していたネジを使用します。



⑤ MPC6565の取り付け

機体に取り付けたスペーサーに MPC6565 をナットで固定します。



MOC6565 を取り付け時は、MPC6535 のコネクタの位置に合わせて向きを決めてください。MPC6565 は 機体に印字されているロゴや型番が反転します。





⑥ コネクタを嵌めます

MPC6565にすべてのコネクタを嵌めます。MPC6535の時と位置は同じです。









⑦ 設定のダウンロード

MPC6565 を接続したら、機体の電源を入れます。

交換した MPC6565 の内部メモリの状態が不定なので、動作を注視してください。起動したら原点復帰動作になる場合とならない場合があります。原点復帰動作が始まった場合は、すぐに機体操作パネルの「STOP」 ボタンを押下して、動作を止めてください。

操作パネルが使用可能になったら、LaserCut を起動して、「設定のダウンロード」を行います。







⑧ LaserCut の更新

制御用ソフトウェア LaserCut は、そのまま変更せずに使用し続けることが可能です。

しかし RSD-SUNMAX-QS シリーズで LaserCut5.3 を使用している場合、更新した方が安定性が向上します。

更新方法

弊社サイトの LaserCut5.5R3 のページ <u>https://www.laser-machine.com/GS/software/info55R3.shtml</u> を 開き、「LaserCut 機種設定なし版」を参照し、「全機種共通用はこちら」からダウンロードしてください。

インストール時は、必ず「LaserCut 機種設定なし版」項に記載の「設定ファイルの移行についてはこちら」 を参照して、設定ファイルの移行を行ってください。

※ 設定ファイルの移行を行わないと、正しく動作しません。

以上で換装は終了です